

県組合イベント★レポート

長野県酒造組合 主催

信州の涼酒、この夏も
東京に大集合

長野の酒メッセ
in 東京 2012

県内の蔵元55社、約500種類の銘酒が一堂に



「長野の酒メッセ in 東京 2012」が5月8日の午後、東京港区のグランドプリンスホテル高輪で開催され(流通・料飲店の部 午後1時～8時／一般の部 午後4時～8時)、県内55の蔵元がおよそ500点にも上る自慢の銘酒をサービスしました。信州の涼しい酒の香が初夏の東京に吹き寄せた一日。



信州
地酒



手ごろな価格で信州の銘酒を一挙きき酒。蔵元との交流も魅力の人気イベント

「長野の酒メッセ in 東京」の開催は今年で9回目。手ごろな参加費(流通関係1000円。一般2500円、DMチラシ持参で500円引き)で信州の地酒を一挙に試飲できる上、蔵元との交流も存分に楽しめるのが魅力で、会場には1000人を超える人々が殺到。ある女性参加者は「蔵元の説明が上手。勧められた酒が自分にぴったりの純米酒で、さすが人を見る目があると感心した」と目を輝かせていました。



流通・料飲店向け試飲会の模様。蔵元の丁寧な説明が好評でした

阿部守一長野県知事の発声で乾杯(一般の部)



▲ 阿部長野県知事(左)と長野県酒造組合の金井会長



きき酒はオリジナルおちょこで



▲ 原発事故の風評被害に負けるな！調査データで「日本酒の安全・安心」をPR



首緒けスタイルの出品酒リスト
扱いやすくってグッドアイデア



和服着用でオリジナルおちょこ5個セットをプレゼント

▼ アンケートに答えると、抽選で15名に北信州みゆき産幻の米が当るお楽しみも



長野県原産地呼称「長野モデル」認定酒のきき酒も